

名誉園長の部屋

<News>

名誉園長 快調にスタート！！



6月の「きまぐれ散歩」には187名もの皆様のご参加をいただきました。誠にありがとうございました。松谷名誉園長の活動は多彩です。どうぞお楽しみに！

(上の写真は「きまぐれ散歩」開催時の風景です。)

★ これからの催し ★

・夏休み特別企画

「オモロ不思議の発見 10以上！樹木編」
～生き残りをかけた木の不思議さをご紹介します！
8月7日(土)

1回目 午前10時30分から正午まで

2回目 午後1時30分から午後3時まで

植物園会館2階研修室集合 野外で活動します。
先着各回30名 小学生対象(親御様付添可)
筆記用具のほか、野外活動時の暑さ対策が必要

・名誉園長さんときまぐれ散歩

8月22日(日) 午後1時から

植物園会館前集合 先着30名

※8月22日の次は10月24日(日)の開催予定

7月のホンマモンの植物



今、これを見てほしい!

名誉園長 松谷 茂

ムクゲ —夏の花木、観賞価値大—

夏の花木の代表と言えば、サルスベリ、キョウチクトウそしてムクゲ。

共通していることは、花期が長いことでしょうか。

百日紅と書くサルスベリの開花は梅雨明けしばらくしてからはじまり、そのピークが訪れた後、花数が少なくなった状態で咲き続けます。キョウチクトウは梅雨の前から咲きはじめますが梅雨の間は咲き止まります。これは、温度のほかに日照時間が関係しているのではないのでしょうか。

さてムクゲ。梅雨の前から咲きはじり、9月いっぱい咲き続けます。またほかの二種にくらべ、花色、花型の変異の豊富さにビックリしますし、品種名(一重咲きの「宗旦」、半八重咲きの「角倉花笠」など)をみているだけでも楽しくなりますので是非ともじっくり観察してください。

当園では二か所。①北山門入って右方向、サクラ品種見本園の南向かい②中央休憩所東の小山。

このほか、同じアオイ科の仲間ですが観覧温室のジャングルゾーンで特に女性に人気の、ハイビスカスやフウリンブッソウゲ、が咲いていますが、花びらの中央に一本突き出ている花柱(かちゅう)の雄しべ(花柱に対しほぼ直角方向に多数。雌しべは、花柱の先端でカワイク5個に分かれている。)が付いている位置に注目!

ムクゲはほぼ全体に付いていますが、ハイビスカスやフウリンブッソウゲではほぼ半分位置。

グーと焦点を当てた観察をしますと、見えなかったものがものすごく見えてきます。

「ムクゲ」



ムクゲ '宗旦'



ムクゲ '角倉花笠'

「ハイビスカス」



ハイビスカス 'ワガ' (展示会にて)



フウリンブッソウゲ